

女夫石遺跡発掘調査速報

No.23

今回は11月3日に開催したワクワク文化体験inNIRASAKI「新府城でドングリ拾い」の様子を紹介します。今年はドングリ不作の年なのは皆さんメディアで知っていますよね。そんな中、新府城でドングリ拾いをしました。拾ったドングリはあく叉キをして、ドングリクッキーを11月25日に作る予定です。自分で取った材料で食べ物を自分で作る機会は近年なくなっています。さらにはドングリが食べられることを知らない人も増えていると思います。あく叉キという先人達の知恵さえも忘れ去られようとしています。ということで、食文化を伝えるということで、今回企画しました。

さー、ドングリ拾いとお城探検に出発だ！ドングリは拾えるかな？今年はドングリ少ないけど、よく探せばあるはずだよ！



新府城の井戸も見学しました。新府城の大きさにみんなビックリしていました。



拾ったドングリでコマを作りました。簡単な遊びですが、上手く回すにはツマヨウジの長さを調整しなくちゃいけません。みんな、上手く回せるように工夫してみたいです！

次のページには当日の配布資料が載ってるよ！

沢リ:今日は女夫石遺跡から離れて、新府城で何かイベントをしているみたいだよ。

マキ:新府城を散策しながらドングリを拾うんだってさ！拾ったドングリは月末にドングリクッキー作りに使おうよ！

沢リ:それにしても、新府城ってお城なのに、石垣(いしがき)がないよね。何か変だな〜。

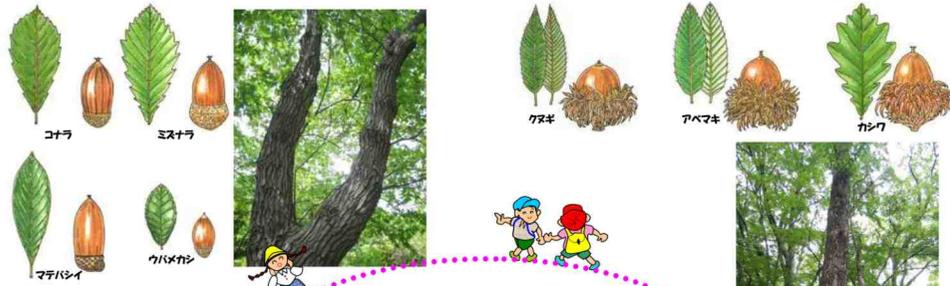
マキ:変じゃないよ！新府城が作られた頃は、土を切り取ったり盛り上げたりして、土塁(どるい)と堀(ほり)で作り上げるのが普通だったらしいよ。

沢リ:お城の作り方も時代によって少しずつ違うんだね。

マキ:でも、敵にとって攻めにくいということはどの時代も同じじゃないかな？それにしても今年はドングリが本当に不作だな〜。

沢リ:去年は新府城でとてもたくさんドングリが拾えたのよね、ちょっと残念だな〜。でも、ドングリクッキーは楽しみだな！！(つづく)

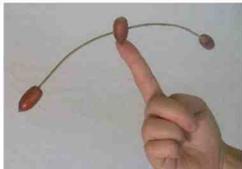




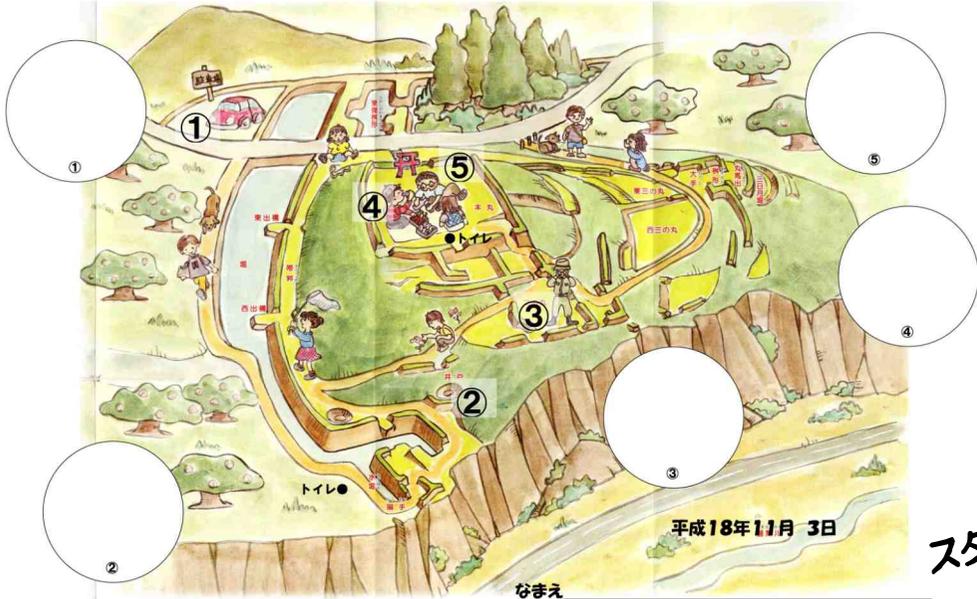
わくわく文化体験 in Nirasaki
ドングリってなんだ?
 新城を歩いてドングリ拾いをしよう!



ドングリのコマ ドングリのヤジロベ



新城のどこにドングリが落ちているのかな?
 ドングリと一緒にスタンプポイントを見つけてスタンプを集めよう!



スタンプのある場所のヒント!

①のスタンプ

集合場所にある大きな看板 (かんばん) にあるよ。スタンプを押したら道を渡るけど、左右を確認して、大人のヒトと渡ろうね。さーいよいよ新城 (しんぶじょう) の探検 (たんけん) とドングリ拾いの始まりです。

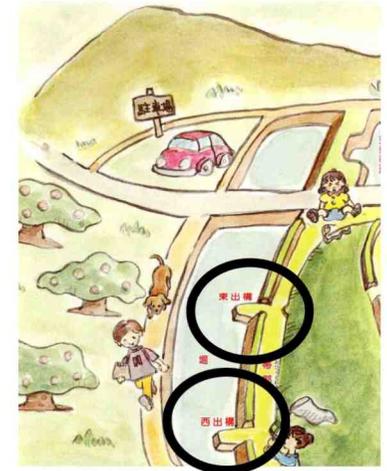
(保護者の方へ)

駐車場の部分は埋め立てられていますが、実は堀の中です。水がたまっている堀だったのか、それとも湿地でぐちゃぐちゃしていたのかは分かっていませんが、新城の北側を守るための施設だったのです。

道を渡ると右側が高く、左側が下がっているのが分かると思います。この部分が堀ということになります。左の下がったところから急に山になっていますが、これが新城内ということです。

ちなみに城内から堀にでっぱった部分がありますが、出構 (でがまえ) という新城の特徴を現す施設が2つあります。鉄砲陣地とも堀の中の水位調節ともいわれていますが、不明です。

出構は2箇所あります。堀の中に突き出たものです。新城の特徴の一つとされています。
 新城は土を切り取ったり、盛り上げたりしながら作った城です。皆さんのイメージする石垣のお城とは違います。



スタンプは「ドングリ拾い」企画用ですので、常備してありませんのでご注意ください!

②のスタンプ

とーっても大きな円いくぼみを探そう！ロープで囲まれているよ！この大きなくぼみは実は井戸（いど）なんだよ。去年はこの近くでもたくさんドングリを拾うことができたけど、今年はどうかな？

（保護者の方へ）

水堀から井戸に向かう途中に新府城の北西玄関（搦手・からめて）を通ることになります。土塁（どるい・土手とってください）がない部分が門のあった場所になります。まっすぐに入ることができない構造になっていることが重要です。要は攻めにくい構造になっているということです。



まっすぐ入ることができては城としては失格です。このような構造を喰違虎口（くいちがいこぐち）と呼びます。虎口は出入り口という意味です。

井戸はととて大きいですが、理科の実験で使うルートのような形をしていて、周辺の水をかき集める構造だったようです。



山の斜面に掘られた大きな穴は、水を集めるのに最適のものです。理科の実験の「漏斗（ろうと）」のような構造です。



③のスタンプ

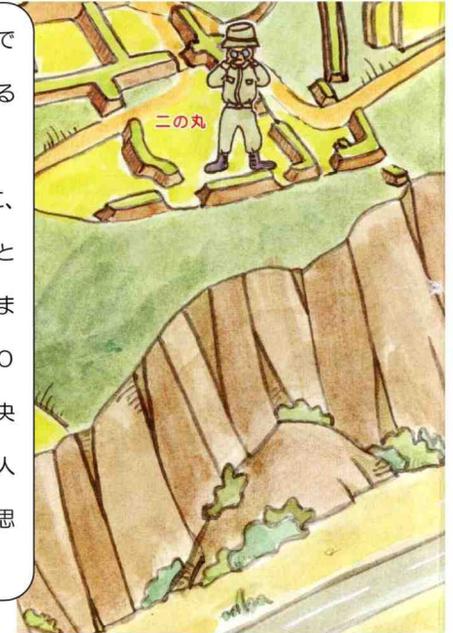
②から坂を上っていくと、平らな部分に出るよ、日の沈む方向に進むとガケがあるよ。そこに行けばあるよ！ガケから落ちないようにね！

（保護者の方へ）

二の丸は新府城の中で 2 番目に高いところです。とても広い平らな場所があることが分かります。おそらく武田勝頼の夫人が住んでいたのでしょう。西側の急斜面を見ていただければ、新府城が攻めにくい城であることが分かります。

二の丸は七里岩のガケが良く見渡すことができます。城が攻略されにくい場所に作られていることが分かります。

武田勝頼の夫人は、武田氏が滅びそうな時に、武田八幡宮に「武田氏が滅びないように・・・」と願いを手紙にして（願文・がんもん）を奉納しました。残念ながらその願いもむなしく、天正10年3月3日に勝頼は新府城をでて、慶徳院（中央市・旧大和村）で3月9日に自害しました。夫人はまだ18歳です。戦国の世の厳しさを改めて思い知る願文の内容です。



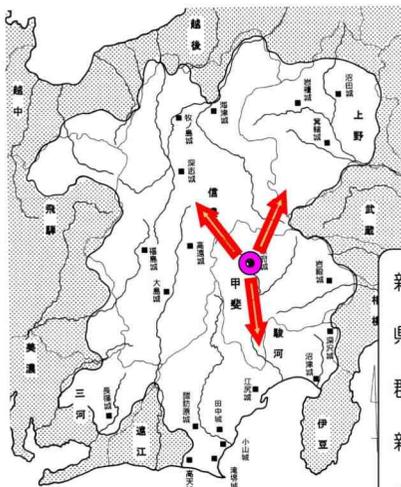
秋になると、秋の七草の一つ女郎花（おみなえし）が咲き誇ります。新府城では「萩の花 尾花葛花 なでしこが花 をみなへし また藤袴 朝顔が花」のほとんどを見ることができます。

④のスタンプ

新府城の中で一番高いところ、本丸（ほんまる）です。ハケ岳（やつがたけ）の見える方に行けばきっとわかるよ。晴れていたらこの眺めの良さを目に焼き付けておいてね！

（保護者の方へ）

本丸は当然、武田勝頼の住まいがあったと考えられます。現在、本丸にある建物は藤武神社なので、武田勝頼の住まいとは関係ありませんのでご注意ください。ハケ岳の方を見ていただければ、佐久往還・信州往還を一望できることが分かります。ヒトとモノの動きを手取るように分かる場所に新府城があるのです。これは、新府城がこの場所に作られた理由の一つといえます。



新府中として韮崎を選んだ武田氏の領国は今の山梨県よりも広くて、静岡県・長野県・愛知県・岐阜県・群馬県などにまで及んでいました。
新府城は佐久・諏訪・駿河の方向を見渡すことのできる位置にあります。交通の中心にあるといえます。



⑤のスタンプ

神社のそばにある茶色い壁のプレハブ。ここでスタンプを押して、ドングリが拾えていたらゴールです。取ったドングリの半分と引き換えにスタンプ帳を下敷き（したじき）にしまーす。残ったドングリはお土産（おみやげ）にして、お家で「コマ」や「ヤジロベイ」を作って遊んでね。

（保護者の方へ）

拾っていただいたドングリは主催者でアクヌキをして次回のドングリクッキーの時に使う予定です。今回は小さなお子様の参加が多いのでアクヌキ作業などは省くこととしました。

- ①とってきたドングリを乾燥させます（保存のため）。
- ②ドングリの皮をむいて、すりつぶします。（煮るのでつぶさなくても大丈夫です）
- ③真水から②を煮ます。その時にアクをとりやすくするために、木灰をいれます。（木灰がない場合は重曹でもいいのですが、縄文時代には重曹はありませんで・・・）
- ④③を繰り返すことでドングリからアクは抜けていきます。アクを完全に抜いてしまうとドングリらしさがなくなりますので注意してください。
- ⑤④を布などでこして、乾燥させればドングリ粉の完成です。

今年はどこでもそうなのですが、ドングリがあまり実っていないようです。メディア等でも報道されていますが、山奥のドングリも今年是不作らしく、熊が里にまで下りてくることが多いようです。豊作の次には不作の年がくるようです。

コマはキリで穴をあけ、穴にツマヨウジを刺せば完成です。ドングリに絵を書いてもいいかもしれませんが、ドングリが小さいのでかなり汚れると思いますが・・・。

ヤジロベイもやはりキリで穴をあけ、穴に竹串をさして作ります。上手く釣り合いを取るのが無図がしいと思います。

自然のものを使って遊ぶ道具を作ることも文化の一つです。単純なものですが、回り方が同じでないので意外と面白いです。